

急変時や終末期における インフォームドコンセント実施率

- 分子
 - 急変時や終末期におけるインフォームドコンセントを実施した記録がされている患者数
- 分母
 - 全入院患者数
- 本指標の意義は、急変時や終末期における患者の希望を予め取得し、その情報が共有されているかをみるための指標です

インフォームドコンセント項目

1. 患者氏名
2. 年齢
3. 臨床診断
4. 病状と予想される経過
5. 本人意思
6. 家族の希望
7. 主要な確認事項

主要な確認項目1~6を対象とする



1. 輸液	(1)希望する	(2)希望しない
2. 中心静脈栄養	(1)希望する	(2)希望しない
3. 経管栄養(胃瘻を含む)	(1)希望する	(2)希望しない
4. 昇圧剤の投与	(1)希望する	(2)希望しない
5. 人工呼吸器	(1)希望する	(2)希望しない
6. 蘇生術	(1)希望する	(2)希望しない

7. その他(具体的に:)
8. 不明な点についての確認・緊急の場合に親族を代表して意思決定を行う方の氏名・連絡先・続柄

補足

1. 輸液	(1)希望する	(2)希望しない
2. 中心静脈栄養	(1)希望する	(2)希望しない
3. 経管栄養(胃瘻を含む)	(1)希望する	(2)希望しない
4. 昇圧剤の投与	(1)希望する	(2)希望しない
5. 人工呼吸器	(1)希望する	(2)希望しない
6. 蘇生術	(1)希望する	(2)希望しない

－ 上記よりも細かい内容を取り決めている場合には分子対象とする

例:

中心静脈栄養 (1)希望する (2)希望しない (3)わからない

NPPV (1)希望する (2)希望しない

昇圧剤の投与の減量(1)希望する (2)希望しない

－ インフォームドコンセントの結果、患者または家族が「わからない」と回答した場合であっても分子対象とする

－ 1～6と同等の内容であれば、読み替えは可能とする

－ 1～6に該当する内容がすべて記載されている場合に分子対象とする

－ 1～6のいずれかに記載漏れがあった場合には分子対象としない

－ 蘇生術の範囲を以下のいずれかとする

- ・ 心臓マッサージを行う(用手換気の有無を問わない)
- ・ バッグバルブマスクなどを用いた用手換気のみ
- ・ 心臓マッサージおよびバッグバルブマスクなどを用いた用手換気